

令和3年1月28日

学校法人 榎園学園  
鹿児島環境・情報専門学校  
校長 榎園克寿 殿

学校関係者評価委員会

評価委員 立山 龍男 

評価委員 服田 雄幸 

### 学校関係者評価 報告書

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

- 1 評価日時 令和3年1月28日(木) 午前9時40分～12時30分
- 2 評価場所 鹿児島市田上3丁目4-8  
鹿児島環境・情報専門学校
- 3 評価内容
  - 1 学校内容・学生状況
    - (1) 本校の「魅力ある学校づくり」に対しての取り組みが、国家資格を取得する学生が多くなっていることに生かされ成果を上げている。いろいろな資格を数多く取得している学生が多くいることは、今後の学生募集に生かされる。
    - (2) 資格合格者が増えて、学校の存在理由がより深くなってきている。
  - 2 卒業研究発表会、その他
    - (1) 発表内容の各項目が良く整理されており、分かり易い研究発表がなされていた。
    - (2) 研究発表での研究の動機、現状、課題、解決の方法、今後の課題、自分の考えがよくまとめられていた。不登校気味の学生への授業対応が工夫され個に応じた指導に生かされ、研究発表までできている姿に感動をおぼえる。
    - (3) 時間配分、発表の態度に工夫が必要。特に、スマホをただ読むのだけはいただけない。
  - 3 自己評価・学生アンケート
    - (1) 的確な自己評価がなされ、それを平常の活動によく生かしている。学生のアンケートを評価項目の中に生かし、それを教師が受け止めて授業に生かしている。
    - (2) 評価項目の設定には難しいものがあるそうだが、内容からは先生方の頑張りが伺える。
  - 4 全般、総評
    - (1) コロナ禍の中で、指導者・学生一体となって学習に取り組む姿勢並びに熱意が本校の魅力の一つになっている。資格取得について良く頑張っており、今後の指導の成果が期待される。
    - (2) 学校の経営もようやく何とか安定化して来たようで好ましい。生徒の質も少しずつ上がって来たようでとても良い。不登校気味の生徒に対する特別教室は効果を出して来ているようだ。卒研発表も出来るようになりとても嬉しいことだ。